

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|---|---|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 長崎短期大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | ナガサキタンキダイガク |
| | 大学等名2(連携大学等) | |
| | 科目名 | インターンシップI/II/III |
| | 学部・研究科等名 | 国際コミュニケーション学科 |
| | 担当教職員名・役職 | 牟田 美信 教授 |
| | 受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数 | 38 |
| 受入企業等数 | 18 | |
| 受入企業等名 | ハウステンボス/ホテルオークラ JRハウステンボス/ヒルトン沖縄北谷リゾート/ANAインターコンチネンタル石垣リゾート/インターコンチネンタルホテル大阪/黒川温泉山みず木/レゾネイトクラブくじゅう/清流山水花あゆの里/ホテルサイプレス軽井沢/城崎温泉お宿 白山/浜名湖かんざんじ温泉 ホテル鞠瑞亭/有馬温泉 元湯古泉閣 ほか | |
| インターンシップの分類 | 1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,2.有給インターンシップ,4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次〜2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ | |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 |
| | 1-2.以外の就業体験の内容(記述欄) | |
| 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 宿泊施設におけるフロント業務やルームメイク・飲食部門での各種勤務を中心とするほか、総合エンターテイメント施設での案内・接客業務等、外国人観光客も含めた多くの訪問客への対応・接客を行う。 | |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している |
| | 2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄) | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄) | 1年次 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄) | 2〜6単位 |
| 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | クォーター制の学事暦に従い、最長で第2クォーター終了後の夏季休業期間から、第3クォーター終了までの約3か月間、国内の各宿泊施設等での有給インターンシップを行う選択必修科目「インターンシップI〜III」として実施している。付与される単位数はインターン就業期間により変動する。本科目では、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶことを目的としている。 | |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
| | 3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている |
| | 3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | 1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,3.その他 |
| | 3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄) | Webサービスを活用して学生がスマートフォン等から日誌を記入できるようにした。教員がその内容を随時確認し、必要に応じてメールでのコメントや相談を行った。 |
| | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄) | 全15回の必修科目「ギャップイヤー事前指導」の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解、インターンシップ中の目標設定およびリスクマネジメント等を行っている。また、ビジネスマナーについては別途、選択授業内でも講義・実践を通じた指導を行っている。 |
| | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄) | 全15回の必修科目「ギャップイヤー事後指導」を設け、就業体験を経て自らが感じたこと、気づいたことや成長について振り返らせる。また同じ授業の中で、インターンシップを経験した学生同士のグループワークを行い、相互の成長を促す。 |
| | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄) | 教員間で分担して県内・県外の各インターン受け入れ先の宿泊施設や企業を訪問し、学生本人、および可能な限り受け入れ先担当者を変えて面談を行った。また、上述のとおり、Webを介して学生との連絡・相談ができる日誌を設けた。一部企業担当者に対しては、報告会を実施し、学生の変化について伝えた。 |
| 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい | |

| | | |
|--------|--|--|
| 要素④ | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている |
| | 4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄) | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 社会人基礎力について学生に自己測定を行わせ、インターン実施前後での変化を客観的に把握させている。また、インターン実施前に進んでいる地域活動を主とした授業での学びをどのように就業体験の中で活かせるかについて学生個人や参加した学生間でのグループワークを通し、再評価できるよう指導している。 |
| 要素⑤ | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |
| | 5-2.該当する実施期間 | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) | 最短30日間～最長約90日間 |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 学生の都合や希望に合わせ、夏季休業期間にあたる8月中旬～9月中旬を開始時期としている。基本は約2か月をインターンシップ実施期間として4単位を認定するが、30日間の短期型(2単位)、90日間の長期型(6単位)も選択可能としている。 |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 一部インターン先について、地元密着型のテーマパークであることを活用し、インターン実施前に学生たちに対して心構えや職員として望むことについて指導を行ってもらった。また、教員側で評価用シートを作成して学生に持参させ、受け入れ先の企業・施設担当者に記入を依頼した。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | http://www.njc.ac.jp/dept/english/english_years/http://www.njc.ac.jp/dept/english/english_schedule/#internship 別途提出済み(シラバス) |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 長崎短期大学 |
| | 担当部署名 | 国際コミュニケーション学科 |
| | 担当者役職名 | 助教 |
| | 担当者氏名 | 園田 靖 |
| | 電話番号 | 0956-47-5566 |
| | メールアドレス | sonoda@njc.ac.jp |